

今月の歳事・農作業暦

2月の覚え書

3日【節分(旧1月13日)】: 大寒より15日目、立春の前日。昔は「せちわかれ」といい、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しました。やがて立春の前日のみを言うようになり(旧暦では立春正月)、この日は年頭または年の暮れにあたり、邪気払いの行事を行い、明日から春というこの日に家の中の邪気を払い、福を迎えます。

4日 立春(旧1月14日)：節分の翌日。暦の上ではこの日から立夏の前日までが春ですが、地方により遅速があります。暦によって立春の感情が整えられ、寒気の中にもかすかな春の兆しを感じられるようになります。立春は雑節の基準日で、八十八夜・土用・二百十日などを起算するもとにもなります。

19日 雨水 (旧暦2月9日): 雨水とは今まで降った雪や氷が解けて水となり、雨となって降るという意味です。このころ、雨水がぬるみ、草木の発芽を促し、萌芽の兆しが見えてきます。昔より、農耕の準備などは、この雨水を目安として始めるとされてきました。春一番が吹き、九州南部ではウグイスの鳴き声が聞こえ始めます。

解説 【雑節】暦注とも言い、暦の注記欄に1年の移り変わりが分かるような特別な暦日が書かれており、生活体験から生まれた、主に農作業へのアドバイス的なものです。一般的には、節分・彼岸・社日（春は五穀豊穡、秋は収穫のお礼）・八十八夜（遅霜）・入梅（節分の目安）・半夏生（田植えの最盛期）・土用・二百十日・二百二十日（台風の時期）・初午・大拔えを言います。

2月は越冬野菜に追肥を

- **凍害対策をしましょう...**1月下旬～2月上旬は最も寒い時期のため、野菜では凍害で品質が悪くなります。霜よけの工夫をしましょう。
- **越冬野菜の追肥...**2月中旬以降、気温の上昇に伴い、食用ナバナ、パセリ、春キャベツタマネギなどの越冬野菜の生育が活発になります。追肥は生育の様子を見ながら行いましょう。
- **アブラナ科野菜...**2月中旬以降は、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、コマツナなどのアブラナ科野菜では花芽の分化が始まり、野菜の品質が悪くなります。早めに収穫しましょう。

お月様
とも
仲よく

如月

きくらぎ(2月)

語源は更にを重なる。こから、衣更着、陽氣がくくなることから、氣更來、草木が芽吹て春を待つ、生更來きささき、ほかにも、胡櫻はきささき、この略称とあるといふ説がある。また、梅の花が咲くことから、初花は梅ははなきささき、梅月あめるとき、梅月(つめつき)、雨つきめつき、雪解月ゆきけつき、小草生月おくさおいき、臘月れいげつ、木の芽月このめつき、なにもと呼ばれる。

園芸新知識 今月の表紙

キュウリ再び...

キュウリは、長らく生産量では果菜のトップでしたが、ここ最近ではトマトのそれを下回っています。トマトが完熟トマトの出現やイタリア料理ブームで需要を伸ばしたのに対し、キュウリは需要拡大を牽引するインパクトに欠けていました。今こそ、洋食や中華料理での新たな食べ方の提案やキュウリ本来の食感、有機栽培や減農薬栽培などをアピールし、需要を喚起したいものです。「Vロード」をはじめとするタキイの夏秋キュウリなら、強い耐病性で減農薬栽培にも有利です。



情報
ボックス

上手な栽培は土づくりから

トラブルのない栽培のために

「みどりくん」で土壌診断!

いよいよ春の植え付けシーズンです。タネや苗、肥料を用意して準備は万端！ん？何かお忘れではないですか？これから元気な作物を育ててくれる大事な「土」の健康診断です。ご自分の畑や花壇の土壌中にどのくらい肥料成分が含まれているかご存知ですか？

実は、プロの農家さんでも、長年の経験や勘を頼りに土壌管理されている場合が多く、調べてみると、栄養過多であったり、チッソ・リン酸・カリのバランスが崩れ、人でいう“成人病”の状態になっていることがよくあります。

肥料成分により土壌に残留している度合いは異なりますから、定期的に土壌を診断して作物にあった施肥管理を行うことが重要です。毎回同じ成分比の肥料を与えるのではなく、まずはご自分の土壌を診断し、不足している栄養成分を多く含む肥料を選ぶことから始めましょう。

簡単に土壌の栄養状態を確認したい、

そんな時に便利なのが東京農業大学により開発された簡易土壌診断試験紙「みどりくん」です。作付けの開始や追肥の時など、誰でも簡単に日常の土壌診断を行うことが可能です。露地の畑や庭の植物の管理はもちろん、雨で栄養分が流出せず肥料過多になりやすいハウスの土壌管理には特に有効です。また、土壌の適正管理による環境保全型農業に関心をお持ちの方や家庭菜園を始められた方にも多く利用されています。

ガーデニングの本場英国では、庭の管理にこうした土壌診断のキットが日常的に利用されています。それは、作物の観察と同時に自分自身で土の状態を知ることが、ガーデナーの基本と

されているからです。春の始まりは「土づくり」から。土の栄養診断を土壌診断キット「みどりくん」でまめに行い、健康な土づくりへの一歩を始めましょう。



■ セット内容

- ・試験紙みどりくんN(pH、硝酸態チツソ測定用): 20枚
- ・試験紙みどりくんPK
(水溶性リン酸、水溶性カリウム測定用): 20枚
- ・専用採土器・採汁器: 各 1 本
- ・専用ボトル: 1 本

- ・送り先が「沖縄県」「離島」宛の場合は送料をご照会ください。
- ・友の会員割引はありません。

みどりくんスターターキット

02-073-01 1セット 6,000円